



6歳臼歯を守りましょう



5～6歳になると下の前歯が抜けかわり新しい永久歯が生えてくるのに前後して、口の中の一番奥に大きな永久歯が生えてきます。

この歯を6歳臼歯（第一大臼歯）といいます。

6歳臼歯が大切なわけ

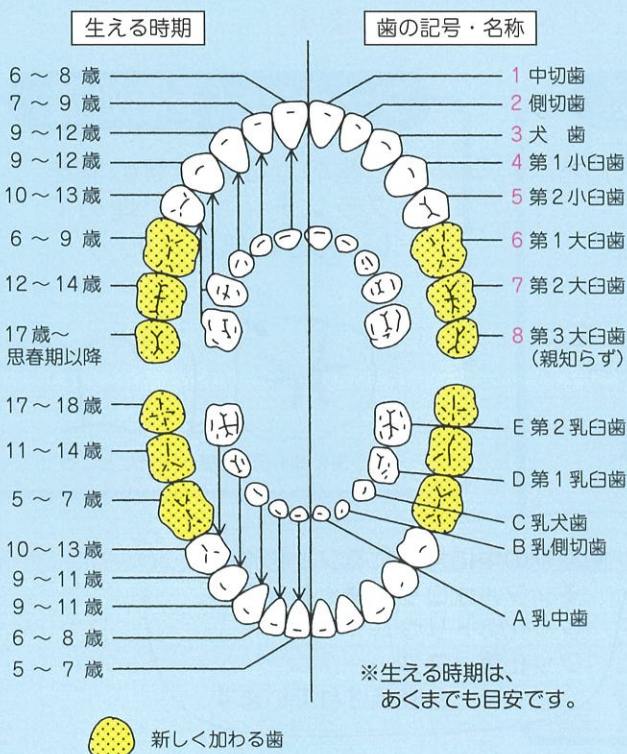


かみ合わせの基準となり、後から生えてくる永久歯が正しく生える目印となります。



永久歯の中で最も大きく、かむ力も強い歯です。この歯を失うと、かむ力は半分以下になってしまいます。

乳歯から永久歯への交換



6歳（±9ヶ月）の歯並びと顎の中の様子（イメージ図）



一度完成した乳歯の根が吸収され抜けた後に永久歯が生えてきます。

生えはじめの状態



乳歯の奥に生えるため生え始めたことに気づきにくい

完全に生えるまでに約1年かかる



背が低い
歯ぐきに覆われている
上下の歯がかみ合わない
(自浄作用↓)



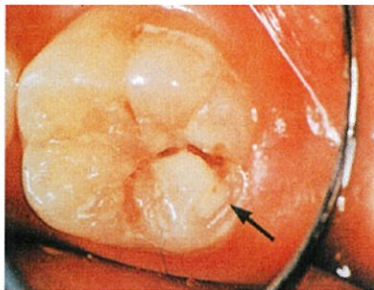
みがきにくい
汚れがたまりやすい

全部生えた状態



*かみ合わせの溝が深く複雑

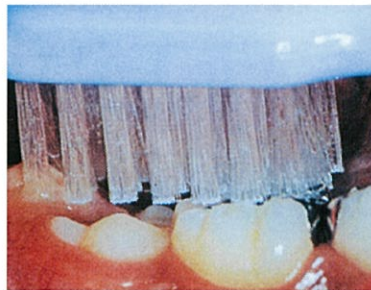
むし歯になった6歳臼歯



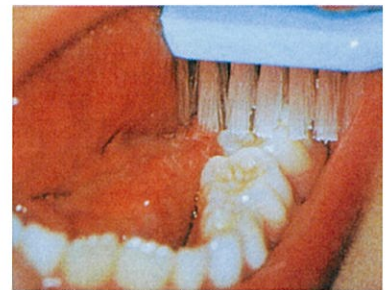
生えてすぐの永久歯は幼若永久歯と呼ばれ、歯の質が弱く抵抗力がないためむし歯になりやすい歯です。
「竹の子」が「竹」になるように歯も唾液中の成分を取り込み数年かかって硬くなります。



6歳臼歯のみがき方



顔の正面から
縦に歯ブラシを入れても
毛先が届きません



斜め横から
歯ブラシを入れると
うまく当たります。



☆この時期にフッ化物を利用するとむし歯になりにくい強い歯になります。

6歳臼歯をむし歯にしないために

- ① 砂糖が入った甘い飲み物・食べ物をひかえ、食べたらかみか習慣をつけましょう。
- ② 6歳臼歯が4本とも生えそろうまでは
本人まかせの歯みがきでは
不十分
毎晩保護者が「仕上げみがき」をしてあげましょう
- ③ 「かかりつけ歯科医」をもち、定期的に検診や指導、フッ化物塗布を受けましょう。

その他のフッ化物応用



歯磨剤の中にも含まれるフッ化物は
モノフルオロリン酸ナトリウム
フッ化ナトリウム
フッ化第一スズ
と表示されています

シーラント(予防処置)

臼歯のかみ合わせの溝をプラスチックで埋めてしまう予防処置です。

